



祝 今月の雲南市は

加茂岩倉遺跡発見20周年

(全国最多の39個の銅鐸出土)

木次線開業100周年

本日から第21回全国高等学校総合学科教育研究大会

〈大会スローガン〉

主催：全国総合学科高等学校長協会

夢をかなえる総合学科 新たなステージへ
～ 人と未来の縁結び ～

本日 ■午前：公開授業 … 三刀屋高校、松江農林高校
■午後：全体会 … くにびきメッセ(松江市)
・講話〈文部科学省〉
・全体発表〈県内4校生徒〉
・記念講演〈中村俊郎氏〉
明日 ■午前：分科会 … くにびきメッセ(松江市)
・5分科会で各2校が発表



↑島根県内の総合学科設置校は西から

① 益田翔陽 ② 邇摩 ③ 三刀屋 ④ 松江農林 の4高校

(益田産業、平成6年) (平成7年) (平成16年) (平成9年) ←カッコ内は総合学科1期生入学年度
└ 初の総合学科設置全国7校の一つ

2年生の東京研修2日目は、4大学6学部に分かれてのアカデミックインターンシップⅡ。写真は湘南工科大学で。

仲間とアクティブに



総合学科は 普通教育を主とする学科である「普通科」、専門教育を主とする学科である「専門学科」に並ぶものとして、平成6年度から導入されたものです。総合学科で行われる教育の特色として、
※幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視すること。
※将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視すること。
などが挙げられます。

(文部科学省HPより)

まもなく旧暦10月。全国の八百万(やおよろず)の神々が出雲の国に集う月。他の土地では神様が留守になるので神無月(かんなづき)となりますが、ここ出雲国では神在月(かみありづき)となります。若者の新造語では「神照月(かみってるつき)」とも。全国からの神々をお迎えする「神迎祭(かみむかえさい)」は旧暦10月10日に行われ、今年は11月9日にあたります。神々の全国大会を前に、一足早く総合学科の全国大会を迎えることとなりました。神対応は致しかねますが、ようこそ島根へ!

今号の紙面では、全国から来県のお客様や一般市民の皆様へ改めて三高総合学科の姿をお伝えします

禁断の鹿実の「働き」
今夏のインターハイで、新体操の会場となった松江市総合体育館が笑いの渦に包まれたことをご存じだろうか。その主役は男子団体の鹿実こと鹿児島実業高校▼男子の新体操は日本独自の競技だが、特に団体のダイナミック且つ一糸乱れぬ緻密な動きが観客を魅了する。リオ五輪最終日の東京への引き継ぎ式で、大学選手権14連覇中の青森大学男子新体操部を中心とするパフォーマンスは「8分間の奇跡」と呼ばれ、完成度の高い演技が世界中で絶賛された▼今回話題にする鹿実は、張りつめた空気を漂うインターハイ会場で、「笑門来福」をコンセプトに「観客をザワザワさせたい」と意気込み、インターネット上では「禁断の鹿実」と呼ばれる。モヒカン風の髪形でウルトラセブンや五郎丸のポーズのほか、ランニングマン・ライザップ・「穿いてますよ」のパロディも。笑いにコミットして全国制覇を狙うが、今年のインターハイ順位は決して満足のいくものではなかった▼だからと言って、評価されないものではない。会場は心踊るドキドキ感に包まれ、観客は拍手喝采を送った。「見に来てよかった」「元気をもらった」と思わせたその「働き」は、審査のモノサシだけでは測れない。確かな実力にも支えられ、見る者を笑顔にするその「働き」は、立派な社会貢献ではないか。禁断の果実「笑門来福」の虜となった鹿実の挑戦と「働き」に、今後もエールを送りたい▼秋を迎え、ここ雲南各地の祭りやイベントでもそうした「働き」が伝わってくる。コンクールとは異なる場で、園児や小中学生、高校生が演奏や演技・展示等の発表活動で地元を元気づけるその「働き」も、地域貢献であり地域の財産だ。そして、人それぞれがそれぞれの「働き」をなして繋がる雲南でも、未来を拓く手つかずの果実が、注目されるのを待っているかもしれない。

(編集長記)



MITOYA

島根 三刀屋 県立 高校

蒼雲

学校だより 第112号

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

三刀屋高校総合学科2年次からは自ら設定したテーマに基づき「課題研究」を深めます

【アカデミックインターシップII】

大学の普段の学びの場を体験しながら
何を学びたいのか?
何になりたいのか?
を考えることの大切さを実感しました



▲ 出発前の三刀屋高校での講演会

講師: 倉部史記氏 (NPO法人NEWVERY理事)
高大接続事業部ディレクター
講演のスライドでは「現在の小学1年生の65%は、現時点で存在していない職業に就く」と、近い将来のキャリアショックが説明され、より一層大学と将来への明確な目標意識を持って進学することの大切さが強調された。

→ 福澤諭吉の玄孫で島根が大好きな方です



↑自身の経験に基づき、様々な示唆に富む言葉をいただきました。以下はその一部です。
■仕事をするには才能が必要だが、その才能を持っているか否かは誰にも分からない。「やりたい」と思う仕事があれば才能があるということだ。「やりたい」と思ったら突き進む。
■初任給で仕事を選ぶな。お金で仕事を決めるのではなく、プライドを持ってやれることをやれ。

10/4、大講義室

Table with 2 columns: 宿泊 (Hotel Montreuil, National Science Museum), 1日目 (Evening Seminar with speaker and performers).

2年

東京研修(3泊4日)に行ってきました

【2日目】アカデミックインターシップII

Table listing departments and student counts: 人文系 (22), 教育・保育系 (18), 保育・栄養系 (21), 医療系 (32), 社会学系 (25), 理工学系 (18).

「(訪問先の)大学の特徴を読み解く」「高校生と大学生の違いを理解する」ためのワークショップを経て、シラバスによって午前、午後一つずつ授業を選択し受講しました。



Table with 2 columns: 学問系統 (Education, Nursing, Psychology, etc.) and 課題研究テーマ例 (Child poverty, Career education, etc.).

※ 上のような課題研究テーマに基づいて、生徒自身で3日目の班別自主研修先を2か所ずつ考え、アポ取り(研修受け入れ交渉)も生徒自身が電話で行いました。

【3日目】班別自主研修の訪問先(計44班の一部)

Table listing 20 different research destinations for classes, including government agencies, universities, and research centers.

系統別の班行動ですが、課題研究のテーマは各自で異なります



帝京大学で



湘南工科大学で



【4日目】最終日は、最高のホスピタリティ(おもてなしの心)をモットーに躍進を続ける東京ディズニーランドを視察(満喫)しました。

課題研究の発表準備へ
2年生は今回の4日間の東京研修を踏まえて、翌週から課題研究の中間発表(本日の公開授業)に向けて準備を進めてきました。
本日の公開授業ではパワーポイントによる発表を行います。
発表は、今年度も深め、年度末にはポスターセッションによる発表会を予定しています(写真は昨年度の体育館での発表風景)。



1年次は 週2時間の授業「産業社会と人間」を通して地域と自分を、そして将来をみつめます



※ 島根県東部の全市町と接する雲南市。ここは現代出雲国の中心 !!

三高新時代への胎動 地域とともに

シリーズ 第26回

雲南の
チャレンジが
連鎖する

旬のキャリア教育〈三高の秋〉

1年

全67事業所に分かれて「地域産業研究」実習(事業所インターンシップ)

10/6、7

本日の公開授業で研究成果を発表

台風のため2日間に短縮
2年生の東京研修と前後して、1年生は「地域産業研究」実習(事業所インターンシップ)を行いました。3日間の予定が台風の影響で10月6日、7日の2日間の実習となつて

しまいましたが、自分が課題意識を持った分野の関連事業所に分かれて実習を経験しました。地元雲南市を中心に奥出雲町や出雲市、松江市を含む全67事業所(学校、福祉施設等を含む)のご協力を得て

の実習は、働く場を体験するだけでなく、各事業所での聞き取り調査(インタビュー)によって、地域が抱える課題とその解決策を探る「地域産業研究」の一貫です。各自の研究の成果はパワーポイントにまとめ、本日の各クラスでの公開授業で発表します。



「アカデミックインターンシップ」も
広島大学へ行ってきました
10/14



学生キャンパスサイト

【学級日誌より(抜粋、一部加筆)】

「教育委員会の仕事は事務的な仕事ばかりだと思っていたけれど、色んな所へ出かけて、私たちが知らない所で沢山のサポートをしておられたので驚きました。私たちが課題にしていた学力低下や不登校についても、おんせんキャンパス(旧温泉小学校にある教育支援センター)に行かせてもらい、話を聞いてとてもためになりました。私が考えていたことがすでに実行されていたりして、アイデアを練り直す必要もありませんが、まだ沢山の課題があることを認識させられました。」

例えば地場産業の将来に関心を寄せる生徒はこんな事業所で実習しました!



↑日登牧場で



↑グリーンパワーうんなんで



↑たたら鍛冶工房で

初日の10月15日は、「地域自主組織取組発表会」と「子ども×若者×大人 大交流会」が開かれ、本校からは「地域産業研究」実習(事業所インターンシップ)を終えたばかりの1年生3名も、研究の成果を発表しました。

2日目午前の今年の「教育フェスタ」は、島根大学平成28年度大学改革シンポジウムとの共催で開かれました。前半は「ラメール」を会場に、大東高校・飯南高校・島根大学から地域で取り組む活動の様子が発表されました。後半は社会人のトークセッション等と並行して、高校生は福祉センター「かもてらす」に移動して大学生と一緒にワークショップに臨みました。本校生12名も少人数の班に分かれ、与えられたテーマ「地域の行事に若い人が参加しなくて困った」(空き家が多くて不安)

等、実際に市民から寄せられた地域課題の解決方法を考え、各自が付箋に書き込んだ意見を模造紙に並べ(写真)、一つひとつの意見を関連付けながら整理。班としての考えをまとめました。なお、このようなワークショップを本校では、島根大学の学生40名ほどが来校して開催される1年次の「授業『大学』」等でも行っています。

子ども×若者×大人 チャレンジが連鎖する2 days

集まろう!繋がり!創り出そう!
みんなでつくる、雲南の未来! 10/15~16

平成28年度大学改革シンポジウム共催
雲南市教育フェスタ2016
「ともに未来を考える
地域でつながる私たちにできること」
10/16 ラメール/かもてらす



高校生と大学生が一緒に
なつてのワークショップ
(10/16、かもてらす)

島根県高文連演劇大会 出雲・石見地区予選

第一関門突破 『笛男〜フエオトコ』 県大会出場へ

近年では最も多い男子6名を含む1年生13名の計20名で、しばらく遠ざかっている中国大会への出場をめざして頑張っている。



県大会につながる出雲・石見地区予選大会で、演劇部は『笛男〜フエオトコ』(脚本/亀尾佳宏)を演じ、今週末の県大会への出場権を獲得した。2年生7名

県高校選手権 ソフトテニス 女子

【女子】三高は2ペアがベスト32に入る健闘をみせた。ベスト32は、新人戦や県総体では上位大会につながる成績で、選手にとっては第一目標であり、本校が2ペア入ったのは近年



- ▼2回戦 菅田野衣・中林楓香 ④・0 出雲
▼1回戦 菅田野衣・中林楓香(2年) ④・0 矢上
若槻真依・土谷美蘭(1年)

9月中旬~10月19日までの結果です



陸上 2名が中国新人大会出場へ

- 【男子】予選通過以上
八百m決勝
須山泰成(2年) 第3位
千五百m・予選通過
須山泰成(2年)
永井宏樹(2年)
森山幸人(1年)
1年五千m決勝
名原優太 第2位
(記録により、中国大会には2年が出場権獲得)
名原良太 第4位
【女子】予選通過以上
2年百m・予選通過
小豆澤真帆

野球 秋季県大会

- ▼砲丸投決勝
高野彩香(1年) 第2位
※男子八百mの須山泰成さんと女子砲丸投の高野彩香さんの二人が中国新人大会への出場権を獲得した。
中国高校新人大会
(10/15~16、浜山)
男子八百m
須山泰成
1分59秒64(自己ベスト)
決勝進出ならず
女子砲丸投
高野彩香 8m40
上位進出ならず

卓球 県高校選手権

【男子】(9/9~10、県立体育館)
▼ダブルス
和泉 僚(2年)
2回戦進出
和泉 僚・妻戸怜央(2年)

- ▼3回戦 菅田野衣・中林楓香 0・④ 浜田
若槻真依・土谷美蘭 3・④ 石見智翠館
【男子】
2回戦から登場の藤原昂輝さん(2年)・清水峻央さん(2年)のペアが江津工業に勝利し、唯一3回戦進出を果たした。

放送 生徒・顧問講習会

県内高校の放送部員が集い、班別にテレビドラマを制作する宿泊講習会。講師の沖繩国際高校の喜屋武先生の脚本に従い、各班と顧問班が制作した番組作品を鑑賞・批評し合った。

第70回二紀展2016

今年から会員として出品(彫刻の部)
周藤豊治教諭(美術)
▼期日 10/14~16
▼会場 国立新美術館 (東京都港区六本木)

ソフトボール 県高校選手権

【女子】(9/17~18、浜田商業高校)
▼Aトーナメント
三刀屋⑦・2大東
三刀屋⑪・0 出雲商業
5回コールド
※1位リーグ進出決定
▼1位リーグ
※雨天中止
※三刀屋を含む三校優勝
【男子】 ※雨天中止



茶道 松江城大茶会

10/2
中間試験最終日の翌日、3年生2名と1年生4名が松江城大茶会を訪れた。部活動での三齋流以外のお点前にも触れる勉強の場となった。

健闘を祈ります
今週末から11月前半が新チームの天王山(大会ラッシュ)

速報 快拳!
(社人を含む)6チーム総当たり
三刀屋高が優勝

『Watchers』
Illustration of a dragon-like creature.

Illustration of a tea ceremony scene.

吹奏楽

秋を迎えると、吹奏楽部は雲南



市内各地で開催されるイベントに引... 張りだことなる。今月23日は三刀屋と木次でダブル出演となった。演奏で地域を元気にするその働きは、コラム欄で述べたように立派な社会貢献と言えるが、学校行事も多い時期で、ボランティア精神だけでは務まらない心身ともにハードな季節となる。体調管理に注意を払いながら乗り切ってもらいたい。

芸術で繋がる雲南の秋!

映画塾が合同練習取材・撮影!

1

仲道郁代 森麻季 デュオコンサートで一年生が共演

十(活動が次々とコラボします)



左奥に映画塾のカメラ

10月10日(月)に加茂文化ホール・ラメールで開催された「仲道郁代・森麻季デュオコンサート」の中で、吹奏楽部1年生8名が社会人6名とともに共演を果たした。世界を舞台に活躍する仲道さんは、2014年から「雲南あちこちコンサート」を重ねるお馴染みのピアニストだが、今回は東日本大震災復興

支援ソング「花は咲く」でも有名な日本を代表するオペラ歌手の森さんとの夢のコラボが雲南で実現。満員となった当日の会場で、吹奏楽部員と一緒に演奏する場をプレゼントしていただき、感激のステージとなった。
▼社会人との合同練習も
1年生の木管楽器担当部員8名は、モーツァルトの「ピアノ・ハ長調K. 545 1楽章」を演奏するため社会人と合同練習を行ったが、9月17日にはその練習風景を、し

2

さくらおろち湖祭りでも 10/16

雲南市と奥出雲町にまたがるさくらおろち湖(尾原ダム)まね映画塾(錦織良成塾長)の皆さんが映画作品の一コマにと撮影する場面もあった(写真上)。翌18日には、教室で掛合分校の生徒が役を演じる場面も収録され、完成した短編映画『5分前から好きでした』は、11月23日に三刀屋文化体育館アスバルで上映される。



3年生が引退した後、1・2年生部員全員による最初のステージとなった。



木次線開業100周年記念特設HP開設

http://kisuki-line.com/evo/

木次線開業100周年 10/8 記念式典・イベント

1916年(大正5年)10月11日に民営畿上鉄道の宍道駅~木次駅間が開業してから100年を迎えました

写真 華道 箏曲

鉄道百周年の祝いに三高生も躍動



↑荒天が予想されたため中止
10月8日(土)、JR木次駅前木次線開業100周年を祝う記念イベントが開催された。本校からは、イベント開催に向け

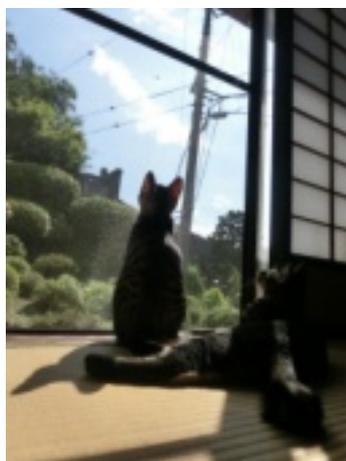
て募集された写真コンテストに写真部員6名が出品したほか、改札口横には華道部員と外部講師の安部先生、顧問の生け花計5点が展示され、賑わいに華を添えた。
駅前特設ステージでは六子

写真

高文連秋季写真コンクール東部地区講評会

3点が県高校写真展への出品資格を獲得

標記コンクールには県内26校の写真部員282名から1,160点の応募があり、6名が出品した本校からは以下の3点が特選に入った。
年末には、春と秋の両コンクールで特選となった作品の中から出品する島根県高校写真展が開催され、来年度の全国高等学校総合文化祭(宮城大会)への出品



特選 『気になる何か』 藤原恋夏(2年)

見えない猫の視線とほのぼの感を描写した秀作(顧問評)

作品が決定される。
【特選】
▽『気になる何か』 藤原恋夏(2年)

▽『We have a dream』 鐘撞絵理(2年)
▽『君は太陽』 石橋冬也(1年)

(10/19、大東高校)

2名も加わって元氣溢れるパフォーマンスで会場を盛り上げた(写真上)。
前日から荒天が予想されたため、箏曲部の演奏や一部プ

ログラムが中止になったのは残念だったが、市民が木次線に親しみ、木次線の利用を促すような取り組みや賑わいの場創出が今後も期待される。

11月	曜	学校行事等	部活等
1	火	しまね教育の日 人権・同和教育LHR(全学年公開)	
2	水	雲南地区高体連体育大会	
3	木	文化の日・3年大学別オープン模試	
4	金	第2回漢検	陸上 バスケ
5	土	出校日 授業「大学」(1年) 3年進駿M模試	陸上 バスケ 野球 サッカー
6	日	第2回英検2次・3年進駿M模試	バスケ 野球 サッカー
7	月	11/5の代休日 PTA大学キャンパスツアー	サッカー
8	火		
9	水		
10	木		卓球 ソフトボール
11	金		卓球 ソフトボール バレー
12	土	第2回オープンキャンパス	野球 自然科学
13	日		ソフトボール
14	月		
15	火		
16	水		放送
17	木	2年高校生の心と性に関する講演会(3・4限)	
18	金	3年全統プレM模試 高校生ボランティア研修会	文芸
19	土	3年全統プレM模試	UNNANデパート選手権
20	日		
21	月	8限授業 試験発表 S.C ロード走補充 防災避難訓練	
22	火	ロード走補充 1年保護者進路ガイダンス	
23	水	勤労感謝の日	
24	木	ロード走補充	
25	金		
26	土	出校日(木曜日の授業)	ESS
27	日		
28	月	期末試験1日目	
29	火	期末試験2日目 大学等説明会	
30	水	11/26の代休日	

しまね教育の日 お知らせ (しまね教育ウィーク)

平成14年に「しまね教育の日を定める条例」が制定され、11月1日を「しまね教育の日」、あわせて7日までを「しまね教育ウィーク」と定められました。本校ではその期間の前後、以下のような取り組みも予定しております。

「しまね教育の日」前後の関連行事

※11月12日のオープンキャンパスについては8面参照

1 人権・同和教育(公開LHR)

11月1日(火) 7限

- 1年→「身の回りのことから考える」
- 2年→「『教科書無償化運動』に学ぶ」
- 3年→「話してくれてありがとう」

2 PTA大学キャンパスツアー

11月7日(月)

(代休日、岡山方面の大学を視察します)

3 1年生保護者進路ガイダンス

11月22日(火)

18:30~20:00
(総合学科棟大講義室 受付18:00~)

11月13日(日)

投開票日



島根県明るい選挙推進
シンボルキャラクター「ホープくん」

選挙名称	選挙すべき数
雲南市長選挙	1人
雲南市議会議員一般選挙	22人

任期満了による雲南市長選挙及び雲南市議会議員選挙が11月13日(日)に行われます。選挙の告示日(立候補届出日)は11月6日(日)です。雲南市内に住み票があり、平成10年11月14日までに生まれた3年生の皆さんも投票する権利があります(選挙権を有する皆さんには、事前に住民票の住所に通知がきます)。

お見逃しなく! ↓今週末です!

書道

第49回島根県高校書道展
in 県立美術館

10/27(木)~30(日) 入場無料

箏曲

第15回島根県高文連
日本音楽部門コンクール

10/29(土) in ビッグハート出雲

開演13時 入場無料

演劇

第40回島根県高等学校演劇発表大会

入場無料 in 加茂文化ホール ラメール

10/29(土)~30(日) 三刀屋の上演は
10/29(土)14:00~15:00



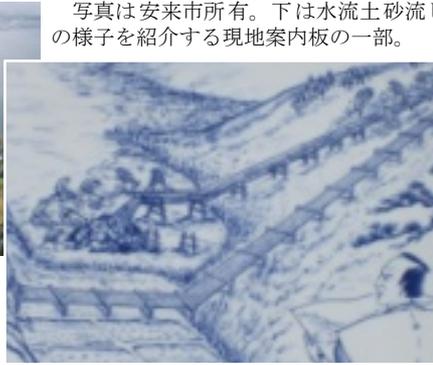
「図書館がつなく学びの輪」



10月1日(土)の午後、島根県立大学松江キャンパス(短期大学部)から岩田教授と学生1名が来校し、大学の紹介に続いて、キャンパス全体で取り組む「おはなしレストラ」について紹介していただいた。

会場の本校図書館には中間試験最終日の放課後にもかかわらず、40名近い生徒のほか保護者2名の出席もいただき、最後は生徒自身が絵本の読み聞かせに挑戦した(写真)。

今年も「おはなしレストラ」がやってきた
講師/岩田英作氏(島根県立大学短期大学部教授) 10/1



写真は安来市所有。下は水流土砂流しの様子を紹介する現地案内板の一部。

山陰中央新報社の子ども向け「週刊さんいん学聞」第99号でも紹介された安来市荒島町の「卜藏(ぼくら)新田」が写真の左上に広がる。江戸時代、ここにあった日白池を鉄穴流しの手法(水流土砂流し)で干拓して造られた。

斐伊川今昔物語 第23回

「棚田と鉄穴残丘」に関する誤解

「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」日本遺産認定(4月)
錦織良成監督映画『たたら侍』モントリオール映画祭最優秀芸術貢献賞(9月)

以前は、「中国地方の中山間地でたたら製鉄が行われた地域の棚田が、すべて鉄穴流しによって造られたもの」と受け止められかねない説明を見聞きすることがあった。また、鉄穴残丘のことを、「鉄穴流しの際に、固くて流しきれずに残った円錐状の地形」とする説明もあった。いずれも誤解を招く言葉不足の感があり、ここで説明を加えたい▼高度経済成長末期の昭和46年に施行された水質汚濁防止法によって、砂鉄採取のための鉄穴流しは完全に姿を消すこととなったが、鉄穴流しの多くはそれ以前、たたら製鉄の灯が消えるとともに大正時代末期にほとんど姿を消していった。ただ、鉄穴流しの手法を活用した新田開発は昭和の時代も行われ、今日の中山間

地の棚田の一部につながっている▼安来市広瀬町の奥田原地区で、80代の男性に聞いた。「(昭和の初めの)子どもの頃には鉄穴流しは無くなっていったが、大人がツルハシで山肌を崩しながら水路に流し、整地して田んぼを造っていた。危険だから子どもは近づくなと言われたが、格好の遊び場となつてよく怒られた。砂鉄を取るためではなかったが、そうした作業も当時は鉄穴流しと呼んでいた」と述べられた。泥水は水路から河川に流れ込み、天気の良い日でも川は濁って公害のような状況だったという▼鉄穴流しの手法を活用した新田開発は江戸時代にも見られ、上の写真で紹介した卜藏新田は、奥出雲町の鉄師の家に生まれた卜藏孫三郎が荒島に移り住んで、16年の歳月をかけて造った。山陰中央新報社発行『週刊さんいん学聞』第99号の紙面で、「水流土砂流し樋」という言葉を初めて目にしたが、鉄穴流しの手法とは、まさに「水流土砂流し」であり、分かりやすい表現だ▼一



→横田高校近くの奥出雲町稲原地区の鉄穴残丘

現在では、鉄穴流しの際に流さず意図的に残した場所も多く、もともとと墓地や鎮守の森、祠があった信仰の場所として説明される。鉄穴残丘は雲南・奥出雲地方の棚田がひろがる景観に、今も静かに溶け込んでいる。



1年「心と性に関する講演会」

9/21 つながり依存、ネット

島根大学の高見有理先生に「思春期と心の対人関係」と題してお話していただいた。「思春期は自分を知る時期であり、自立が一つのテーマである」、「ケータイ依存、呼びかけられた。

実りの秋に厳しい雲南の現実 「獣害」

今年はこれまでになく熊の目撃情報が多数寄せられたが、秋になってイノシシの害も相変わらず多いようだ。下の写真のトタンやネットも効果が



薄く、9月下旬には近くで一頭が駆除されたが、市街地とは目と鼻の先だった。

また、ほぼ同じ場所では、昨年もこれからの季節に校舎から猿が目撃されている。柿を狙っているようだ。山奥深くで生息していた動物が里山に降りてきた背景には、少子高齢化・人口減により、手をかけられずに荒れていく里山の拡がりも考えられる。

こうした獣害の実態とその解決策を探る「課題研究」にチャレンジする三高生はいないだろうか。

